

三周年



かみれん新聞

平成28年6月17日ケアハウスかみれん
4年目突入です。

ごあいさつ

ケアハウスかみれんは4年目に突入しました。あつという間に時間が過ぎていきます。開設から入居者もお元気で開設した平成25年9月に東京オリンピックの開設年度の入居者との目標である「東京オリンピックピックを見に行くと話も現実に話になつて来ています。今回の新しい写真は今回の新しい写真に頂いたアジサイが今年初めて花をつけた記念です。

今から思えば自立型の施設とは何をすれば良いのかと悩ましながらスタートを切りました。どうせなら住んでいる人が決めれば良いやと皆さんの希望を募っているうちに三年経つてみたらとても忙しい揃えな施設になりました。今度も入居者の皆さん元氣いっぱい活動をご報告をさせていただきます。その報告が出来る幸せを感じて頂ければ幸いです。

発行年月日
2016年6月17日

発行人
塚本 和徳



編集者より
ひとこと

第三号！
早くも第三段！
どうぞお楽しみ下さい。



前年度 活動一覧

行事実施表

7月 地域盆踊り

8月 調布花火大会
(屋上にて見学)

9月 三鷹市高齢者
作品展 出展・見学

11月 紅葉見物
(井の頭恩師公園)

1月 初詣 (八幡大神社)

4月 花見 (境)

5月 一日ハイク
(両国)

クラブ作品

6月 紙すき・ステンシル

8月 八口ウイン飾り作成

10月 ろうけつ染め

12月 だるま作り

1月 1月 1月 1月
なべしき

3月 籠付き巾着

ミサンガ
毎週木曜午前実施
ポールウォーキング

月イチ開催
風船バレー

かみれん イベントアルバム

6月

カラオケ大会



「そういえば 6月と言えば 開設記念日が有って…」という話から あれよあれよとカラオケに行こうとなりました。こんな感じで かみれんでは色々な事が決まっています。

11月

紅葉見物 (井の頭恩師公園)



今年の紅葉見物は 昭和記念公園と井の頭公園と日比谷公園の三つ巴。最後は僅差で井の頭公園となりました。でも少し早かったかな…

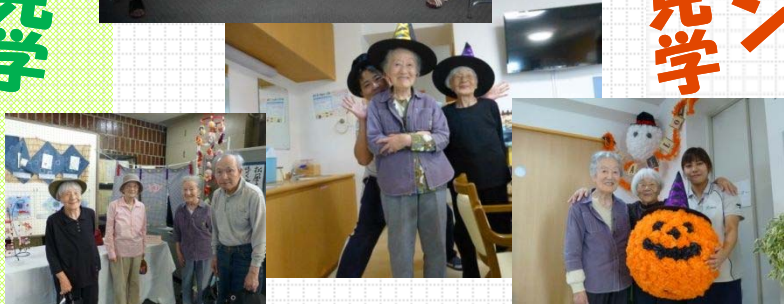
8月

花火見学



9 10月

ハロウィン 展示会見学



2月

節分



4月 お花見



いつもの

作品紹介

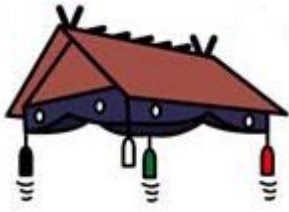


①なべしき

今年には他にも ろうけつ 染め だるま作り 籠付き 巾着など作成しました。特に右の帽子は Eテレの番組を見た入居者がやりたいと言った事がきっかけとなりました。今度は なにか大作にでも挑戦しましょうかね…

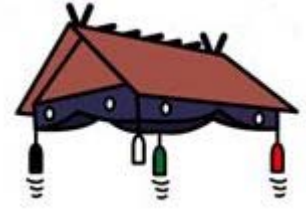


②夏用帽子



第 6 回

1日ハイク



日時：2016年5月26日（木）

場所：江戸東京博物館
国技館（両国）

今年のハイクは
「両国」です。
前日までの晴れな
い天気予報は
どこへやら…
今年も晴天でした。

江戸東京博物館



今年のかみれん初の「電車での移動」で1日ハイクを行いました。職員の心配をよそに事故も無く 良い天気にも恵まれて 楽しい時間を過ごしました。

両国国技館



何日か前まで 「雨」
の予報でしたが…
かみれん外出は絶対晴
れます。

ポールウォーキング



歩く練習を行いたいと言う声から たまたままヨでやっていたノルディックウォーキングから資格を持ったトレーナー(塚本の事です)をつけて毎週木曜日の午前中に行っています。ポールを使って1時間みっちり歩きますが 歩きながら季節の花を愛でたり話をしながら楽しく歩くのが目的です。ご家族の方や職員もご参加頂いても良い活動としておりますので ご興味のある方は是非一度見に来て下さい。

盆踊り



7月24日 井口院駐車場で行われた盆踊りに かみれんを始め 三鷹ナス全体で参加させて頂きました。踊りを踊った事が有っても久しぶりで忘れてしまった入居者とも 思い出しながらの東京音頭。踊りは二の次 ビールや焼き鳥を頬張る人。色々な部署が混在する中に入居者や職員がみんな楽しんでるひと時でした。すでに今年も楽しみにしている方もちらほら:

編集後記

今年に入りたまたま目にした本に懐かしいワーズの詩を何十年ぶりに見る。

「草原の輝き 花の栄光 再びそれは還らずともなげくなかれ その奥に秘めたる力を 見出すべし」

まだ十代だった頃 池袋・高田馬場と通学路にリバイバル映画館が多く、そこで「草原の輝き」を見た事で初めて出会った詩で、映画を見て「なんて残酷な映画だ」とその時は思った。映画はともかく改めて三十年程経過してこの詩を読むと、妙な納得を覚える。かみれんの入居者もそうであるように、最悪の時代と輝く栄光と、共に鮮明に生きてきた人達は本当に力強い。昔は出来た事が大分出来なくなっている。出来る事の中から楽しみを見出す事が出来る。何も無い場所から見つけた輝きを、更に生みだす力を持ち続けている。我々ももうすぐ高齢者となっていくが、物質的には恵まれていた時代に生きて、どういう高齢者になっていくのだろうか…

施設が三年過ぎると、入居者の機能低下も目立ち出来る事に制限が出てくると言う話はよく聞かれます。実際に怪我などが多くなる。四年目に入るかみれんは、何を見出すのか。きっと、職員も驚かせてくれるに違いないと思う。過度な期待はせずとも、楽しみでもある。

それでは また四号で:

